

鈴鹿西ロータリークラブ会報

所属： 国際ロータリー第 2630 地区 鈴鹿・亀山グループ；

創立： 1985 年 3 月 27 日； RI 認証： 1985 年 6 月 3 日(No. 1665)；

事務所： 〒513-0802 三重県鈴鹿市飯野寺家町 816 鈴鹿商工会議所 3F；

電話： 059-383-7077； FAX： 059-383-0501；

E-Mail： info@rotary-suzuka-west.org； <https://www.rotary-suzuka-west.org/>

例会場： 鈴鹿商工会議所 別館 1 F 会議室； 例会日： 火曜日； 例会食事： 12： 00； 例会： 12： 30-13： 30；



持続可能なインパクトを生み出そう

2026 年 9 月 9 日(水)第 1841 回例会

鈴鹿・亀山グループガバナー公式訪問

合同例会・インターシティミーティング

例会場： 鈴鹿商工会議所 4 F 大ホール

開始： 15： 00 終了： 17： 55

例会司会進行： 鈴鹿 R C 杉本 美音理

点鐘： 鈴鹿 R C 会長 阪田朋成

ソング： 君が代 奉仕の理想

ソングリーダー： 鈴鹿 R C 宮田孔介

【特別参加者】

地区ガバナー 河合 伸泰

パストガバナー 岡田 信春

地区代表幹事 豊田 典義

地区幹事 伊藤 和久

米山学友会小委員会 伊藤 晃宏

青少年交換委員会 水谷 晃

R 財団補助金小委員会 本居 美佳

公共イメージ委員会 山川 武志

インターアクト委員会 小林 英将

米山記念奨学生 ティルワ・ビカス

(敬称略)

■地区ガバナー・クラブ会長・クラブ幹事

懇談会

開催場所： ハヤシユナイテッド文化ホール

鈴鹿 3 F 第 5 研修室

時間： 13： 30～14： 30

参加者： ガバナー・ガバナー補佐・

4 クラブ会長・幹事

■2026-2027 年度ガバナー公式訪問 4 クラ

ブ合同例会

開催場所： 鈴鹿商工会議所 4 F 大ホール

時間： 15： 00～16： 00



受付 沖 俊成会員

主幹クラブ 会長挨拶



鈴鹿 R C 阪田朋成会長

【日赤点訳奉仕団目録贈呈式】

日赤三重県支部点訳奉仕団

団員 中村なるみ

15:25～15:55

講演：国際ロータリー第2630地区

ガバナー 河合伸泰



2026-27年度のガバナー公式訪問では、RI会長メッセージ「持続可能なインパクトを生み出そう」を踏まえ、国際ロータリー第2630地区の地区方針「未来につながるロータリー」について説明した。

今年度の地区方針の中心にあるのは「つながり」である。社会とのつながり、平和とのつながり、地域とのつながり、人とのつながり、そして会員同士のつながりを大切にするることによって、ロータリーの活動を次代へつないでいきたいとの考えを示した。また、「自分を変えられれば、クラブと地区を変えることができる。地区を変えることができれば、地域社会を変えることができる」という考え方を紹介し、一人ひとりの行動の積み重ねが、持続可能なインパクトにつながることを強調した。



地区活動方針としては、①RI会長メッセージの推進、②RI戦略計画の推進、③公共イメージの向上、④会員増強と会員基盤の拡大、⑤職業奉仕の理念の再認識、⑥米山奨学事業への参加と支援、⑦青少年育成の推進、⑧ロータリー財団の積極的活用と寄付への理解促進、⑨ラーニングによるクラブの活性化、⑩奉仕プロジェクトの推進、⑪ロータリーカード活用の強化、⑫クラブ優秀賞への積極的チャレンジの12項目を掲げている。

公共イメージについては、ロータリーの価値と活動を地域社会へ積極的に発信し、地域におけるロータリーブランドの認知度向上、マスメディアの活用、クラブと地区・関連委員会との連携、My ROTARYのブランドリソースセンター活用を促進することと呼び掛けた。

会員増強については、単に会員数を増やすだけでなく、多様性を尊重し、「参加して良かった」と思える魅力あるクラブづくりを進めることの重要性を説明した。

さらに、ロータリーの原点である職業奉仕について、会員一人ひとりが自らの職業の社会的意義を再認識し、専門知識や倫理観を会員同士

で共有するとともに、職業で培った技術や知識を地域社会への貢献につなげていくことを求めた。

ロータリー財団については、地区補助金の積極的な活用をはじめ、年次基金、ポリオプラス、恒久基金への寄付への理解を深め、財団と奉仕プロジェクトをより一層結び付けていくことをお願いした。

特に今年度重点を置いているのが「ラーニング」である。クラブ研修リーダーによるラーニング型例会を推進するとともに、My ROTARY 100%登録を目標とし、ラーニングセンターを積極的に活用することで、会員一人ひとりの自己研鑽とクラブの活性化につなげたいとの考えを示した。

各クラブがそれぞれの歴史、伝統、特色を大切にしながら新しい時代に適応し、地域社会に必要とされる存在であり続けることが、ロータリーの未来につながる。「未来につながるロータリー」の実現に向け、地区とクラブが力を合わせ、持続可能なインパクトを生み出していきたいと結んだ。

■2026-2027 年度 インターシティ・

ミーティング

開催場所： 鈴鹿商工会議所 4F 大ホール

時間 16：10～17：55

司会進行：鈴鹿 R C 森 日出子

講演：「奉仕と親睦」

講師：鈴鹿西 R C 柴田友美／小林英将

16：20～1640



亀山 R C：川森浩次

16：40～17：00



鈴鹿シティ R C：寺川浩二

17：00～17：20

鈴鹿 R C：田上顕也／川出友彦

17：20～17：40

次期主幹クラブ会長挨拶



鈴鹿西 R C 柴田友美会長

■ 2026-2027 年度 インターシティ・
ミーティング懇親会

開催場所：ハヤシユナイテッド文化ホール鈴鹿

1F さつきプラザ 時間：18：10～19：50



“2026 年 8 月 ネパール大規模洪水被害”

【お見舞状】

ネパールカトマンズ
ラリトプールロータリークラブ
2026年～2027年会長
Rupak Das Tamrakar 様

ネパール現地時間 26 日(水)ラスワ郡を流れる
ボテコシ川で大規模な鉄砲水が発生し、多数の
死者や行方不明者が出ていますことに心を痛め
ています。

貴国では甚大な被害にたいへん驚くとともに、
心よりお見舞いを申し上げます。

もし、何か私どもクラブでできることがありま
したら、及ばずながらご協力をいたしたく
存じておりますので、何なりとお申し付けくだ
さい。

この度のご被害は甚大とのことで復旧にはご
苦労も多いとは存じますが、どうぞ一日も早く、
復興できるようにお祈りいたします。

2026年8月30日

鈴鹿西ロータリークラブ

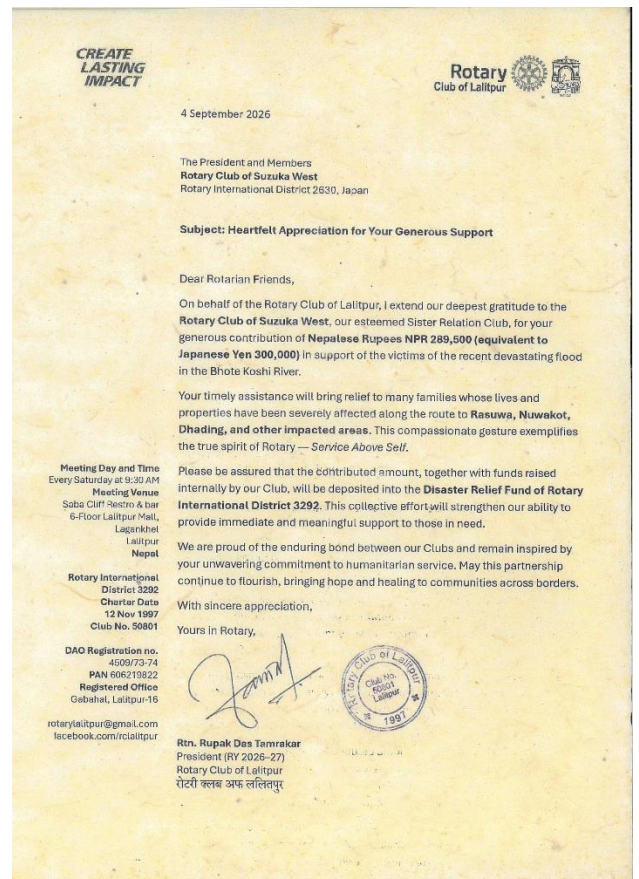
会長 柴田友美



【支援金贈呈】

2026年9月5日にネパールカトマンズのレストラ
ンにて、鈴鹿西クラブ会員関係者(学校法人日本
語教師)より、ラリトプールクラブ会長(中央) Ru

pak Das Tamrakar (ディパック ダス タム
ラカル)様に支援金とお見舞い状をお渡し致し
ました。写真の右寄り2番目の方はパスト会長で
当クラブとのツインクラブ調印式時の会長です。



【ラリトプールRC お礼状】

会報発行担当：伊藤義一